

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

ディスカッション 「エネルギーの将来について考えるには」
ステップ1：エネルギーに関する自分の意見を紹介しよう



プロジェクトが目指すもの

▶ **エネルギーについてよく知り、自分の意見を持った上で、周りの意見を尊重しながら、エネルギーの将来についての「合意」を目指して話し合う。**

- 最終的には、**2050年の日本のエネルギー構造**について考え、話し合う。それを目指してワークショップを進める。
- もし合意が取れなかったとしても、「合意」を目指すためには、さらにどのような情報が必要になるのかを話し合う。プロジェクトでは合意を目指すが、全6回のワークショップで必ず取らなければならないということはない。

木村：今日は、講義というよりは、皆さんがエネルギーのことをどう思われているのかということについて、共有していくのが主な話になります。

それでは、こちらの「コミュニケーションのステップ」と書かれている資料をお手元にご用意ください。

こちらは、先ほどからご説明しています、プロジェクトが目指すものです。エネルギーについてよく知って、自分の意見を持った上で、周りの意見を尊重しながら、「合意」を目指して話し合う、というものになります。話し合いだからとにかく話せばいい、ということだと合意はできないということがよく言われています。相手のことを理解した上でコミュニケーションをするということが、合意への道筋であろうということです。

コミュニケーションのステップ

お互いに理解し、尊重する

- **お互いが異なることを知る**：お互いの普段の考え方や人柄などを知ることで人によって意見や判断、価値観が異なるものであることに気づく
- **共通点を知る**：お互いの中に共通点があることに気づく
- **異なることを受け入れる**：個人個人で判断や価値観が異なるものであるということを「そういうものだ」とあるがままに受け入れる

お互いが変わろうとして、コミュニケーションする

- **自分が変わろうとする**：自分と相手が歩み寄るために、自分が意見や判断、価値観を変えても良いと思う
- **相手が変わろうとしていることを知る**：自分と相手が歩み寄るために、相手が意見や判断、価値観を変えても良いと思っていることに気づく

木村：では、「コミュニケーション」とはどのようなものなのか、簡単にご紹介したいと思います。

コミュニケーションのステップは、大きく 2 つあると考えられます。広い意味では、情報が行き来すれば「コミュニケーション」なのですけれども、このプロジェクトでは「合意」を念頭に置いてコミュニケーションをしていただきたいと思っていますので、こういうステップになるかなと思っています。

1 つ目は、「お互いに理解し、尊重する」というステップです。お互いが一緒ということはないので、異なるということをまずは知りましょう。でも全部が違うわけではなくて、共通点もあります。では、どこが共通点なのかも知っていきましょう。その上で、異なることを受け入れる。これが尊重することにつながるわけですが、このような 3 つの要素が含まれています。これが 1 つ目のステップです。

その上で、お互いが変わっていくことを許容しないとはいけません。特に、合意を作るときは、単に妥協するのではなくて、お互いが変わりながら、協調して、より高いステージを目指していきたいということが含まれますので、「自分が」ということではなくて、「お互いが変わろうとして、コミュニケーションする」というエッセンスが非常に重要になると考えています。例えば、自分が変わろうとするということ。また、相手が変わろうとしていることを知るということ。こういったステップを踏むことで、コミュニケーションが成立していくだろうと言われています。

話し合いのルール

1人の参加者として ▶▶▶

- 「私は」という一人称で話す
 - 「私の意見」を言うことが大切です。「私たち市民は」「私たち学生は」という話し方はしないように意識しましょう。
- 誰かが話しているときには、その人が話していることをしっかり聞く
 - 他の人の話を聞くことに専念し、自分が次に何を話そうかなどと考えないようにしましょう。
- 否定の言葉から話し始めないように気をつける
 - 「いや、そうではなくて、・・・」ではなく、「なるほど、そのような考え方もありますね。私の意見はそれとは異なりますが、・・・」といった形です。
- 1人が1回に話すのは1分以内が目安
 - 1人が話し過ぎない目安として、制限時間をセットしてみましょう。
- グループみんなで、ファシリテーターを助ける気持ちを持つ
 - ファシリテーターはグループの話し合いをまわすために、献身的な働きをしてくれています。ファシリテーターには感謝を持って接するようにしましょう。

木村：事前にメールでお送りした「コミュニケーション・マニュアル」には、コミュニケーションを成立させていくための要素が細かく書かれています。ただ、それらを全て守るのはプロでもできないので、今回のプロジェクトでは、これくらいのルールだったら守れるだろうというものをまとめてみました。お互いを尊重するような話し合いをしてもらおうということで作ったものですので、この辺りはできるだけ守っていただきたいと思っています。

1つ目は、「私は」という一人称で話すということです。自分の意見を言うときに、「私たち学生は」とか、「私たち市民は」とか、おばさんになると「私たち主婦は」とか、そういう言い方をする人がすごく多いのです。自分の意見なのか、周りの意見を聞いて自分の意見をうやむやにしているのか、自分の意見を周りに押し付けて言っているのか分からないのですけれども、そういうことは控えていただきたいと思っています。「私は」ということで、自分の意見を素直に言っていただくことが、自分を知ってもらうためには非常に重要だと思っています。

2つ目は、誰かが話しているときには、その人が話していることをしっかり聞いてください。自分の意見を言いたくなると、割って入ってしまうことが多いのですけれども、そうではなくて、ちゃんと聞いた上で話していくという順番をしっかりお互いの中で調整していただければと思います。

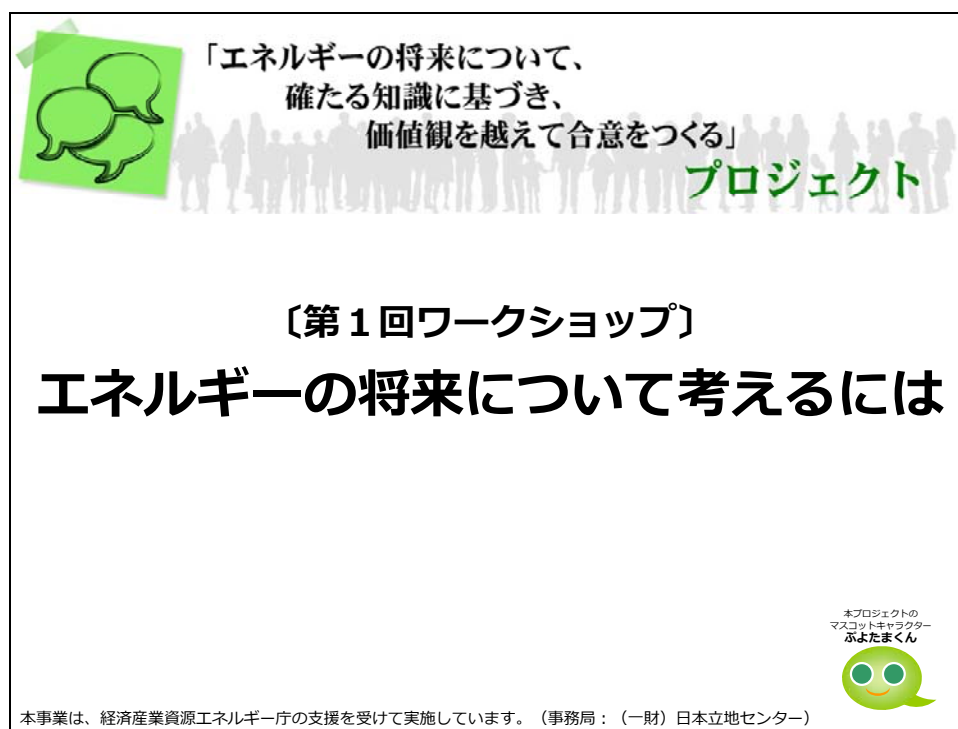
3つ目は、よく言われていることですが、否定の言葉から話し始めないように気をつけるということです。誰かの意見に対して、「いや、そうではなくて・・・」から入るのではなく、「なるほど、そういう考え方もありますね。私は、でも、こういう考え方があります」

というふうに、違う意見であっても、それはお互いに対等で並列である、という言い方を心掛けていただければと思います。こういうことが、お互いを尊重しているという状態につながっていくと思います。

4つ目は、1人が1回に話すのは1分以内が目安ということです。話し好きの人は、長く話してしまいがちです。私もそうなのですけれども。そうすると、時間割が皆さんの中で公平でなくなってしまうので、1人が話すというよりは、皆に話してもらおうということで、このルールをセットしていただきたいと思います。目安ですので、自由に話していただければと思うのですが、私のほうで、長すぎるなと思ったら切ったりしますので、切られたときに「いやいや」って自分の意見を言い続けるのは、やめていただきたいなと思います。

最後ですけれども、ファシリテーターを助ける気持ちを持って、話し合いを進めていただきたいと思います。

こういうことを心の片隅に置きながら、今日の話し合いを進めてみたいと思います。



「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」
プロジェクト

〔第1回ワークショップ〕
エネルギーの将来について考えるには

本プロジェクトの
マスコットキャラクター
ふよたまくん

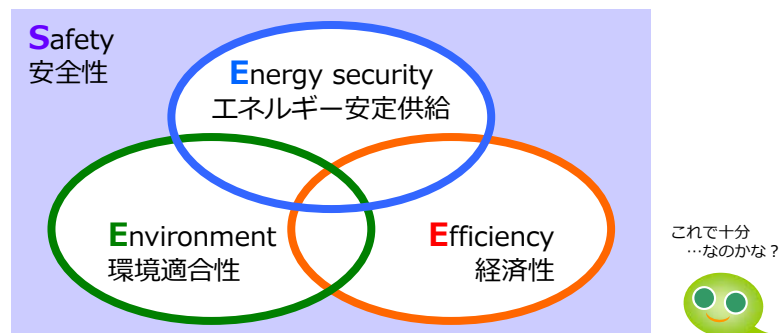
本事業は、経済産業資源エネルギー庁の支援を受けて実施しています。（事務局：（一財）日本立地センター）

木村：それでは、中身についてお話ししていきたいと思います。今日のテーマは、「エネルギーの将来について考えるには」になります。




エネルギーの将来を考える

- ▶エネルギーの将来を考えるには、「3E+S」が重要とはよく言われる。大前提のSに加え、3Eのトリレンマを考えなければならない。



木村：これは再掲になりますけれども、エネルギーについて「3E+S」が重要と言われているけれども、これを皆さんがどう考えているのかということについて、皆さんの中で共有したいと思います。




「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」
プロジェクト

〔ステップ1 …20分〕

エネルギーに関する自分の意見を 紹介しよう

- 重視する要素と、その理由は何か
- 重視しない要素と、その理由は何か
- 疑問に思ったことをお互いに質問しよう

今の素直な気持ちを
話してみよう。



木村：「ステップ 1：エネルギーに関する自分の意見を紹介しよう」ということで、1 人ずつ話してもらおうかなと思っています。

これは募集のときにも、先ほどのアンケートにも書いていただいていると思いますけれども、変わっていても別に構いません。今の段階でのお話をしていただければと思います。

まずは、重視する要素と、その理由は何か、ということについて、一通り回していきましょうか。竹中君が、皆さんが話したことをこちらの模造紙に簡単に書いていきますので、ゆっくり目に話していただければと思います。

では、G さんから、「3E+S」の中で重視する要素と、その理由は何かということについて、お話しいたしましょう。

G：私は重視する要素は、〈エネルギー安定供給〉です。やはり安定供給できない場合は、エネルギーとして使い物にならないと思います。たまに使えるときもあるけど、使えないときもある、だと生活に組み込む上で役に立たないかなと思ったので、〈エネルギー安定供給〉を重視する要素として選びました。以上です。

木村：ありがとうございます。

では、お手元に附箋の束を持ってもらって、他の人が発言したときに、この人に何か質問したいなということがあれば、書き留めておいてもらっていいですか。あとでお互いの質問タイムを作りたいと思いますので。この場では、1 人ずつきつと紹介してもらおうと思います。

Gさんは、使えないときがあると生活の役に立たないということで、〈エネルギー安定供給〉ということですね。

では、Fさん、お願いします。

F：私の重視する要素も、Gさんと同じで、〈エネルギー安定供給〉だと思います。Gさんが言ったように生活面もかなり大事になるとは思いますけれども、私が大事だと思っているのは、日本は一応先進国ということで、工業的とか規模の大きいところでも電力を大量に使っていると思うのですけれども、そういうところでいきなりストップしてしまうと、そこで働いている人たちをすごく危険な目に遭わせてしまったりすると思うのです。なので、経済発展プラス安全性という面でも、安定的に供給できていることが一番大事なのではないかと思っています。

木村：ありがとうございます。経済発展という観点からも、ということですね。

では、Eさん、お願いします。

E：私が重視するのは〈エネルギー安定供給〉です。先ほどの2人の方もおっしゃっているのですけれども、今の生活はエネルギーがないと成り立たないと思うので、必要だと思ったのが1つ。それから、原子力発電所が停止したことで、では電気が来なくなるのかとか、そういう生活に直接的に関わる点ですごく不安を覚えたので、今の社会に大きな影響を与えるという点でも、〈エネルギー安定供給〉が大事なかと考えています。以上です。

木村：ありがとうございます。

では、Dさん、お願いします。

D：私は、〈エネルギー安定供給〉ももちろん大事なのですが、〈経済性〉が大切かなと思っています。単純な理由ですけれども、やはり財政的に結構厳しいところもあるので、そこが何とかならないとどうしようもないのではないかと思います。

木村：〈経済性〉ということですね。

次の模造紙になるので、少し待ってもらっていいですか。では、Cさん、いいですか。

C：私は、〈エネルギー安定供給〉が重視する要素だと思います。理由は消去法に近くて、〈安全性〉と〈環境適合性〉は、何か人工的なことをするときには少し妥協しなければいけない部分があるかなと思って、この2つは重視するとは言えないなと思ったのと。〈経済性〉は、先ほどどうしようもないのではないかという意見もあったのですが、私は、経済のことは何とかなるのではないかと考えていて。〈エネルギー安定供給〉は、この4つの中で

一番妥協できないし、先ほど G さんが言ったのですけれども、不安定なものは意味がないかなと思ったので、これにしました。以上です。

木村：ありがとうございます。

では、お願いします。

B：一番重視する要素は、〈安全性〉です。やはり 3.11 のときの福島原発がかなり念頭にあるのですけれども、あの事故が起こったときに、人体に影響があるのかないのかよく分からないという状況で、感情的な部分で言えば、不安がありました。それに、実際に事実として、人体に影響があるのかどうかということが、いまいよく分からない。同じ原子力という意味で言えば、昔あったチェルノブイリの原発事故とか、もっとさかのぼれば広島原発の被ばく被害があつて、それに類似したことが起こるのではないかと 3.11 の後に直感的に思って、そういった意味で、私は〈安全性〉が一番重要だと思います。

木村：ありがとうございます。

では、最後、よろしくお願いします。

A：私も、一番重視する要素は〈安全性〉だと思います。安全でなければ仕事ができないというのもそうなのですけれども、原発事故があつたときに、原発が危ないという認識を専門家の人が一般市民にあまり伝えていなかったのかなと思ひました。その時点で不安をおおってしまった点があつたと思ひます。〈エネルギー安定供給〉ももちろん大事だとは思ひます。のですけれども、国民が安全じゃないとずっと続いていかないと思ひるので、〈安全性〉をまず重視すべきだと考えます。

木村：ありがとうございます。

重視する要素だけで質問し合つちやうとよく分からなくなってしまうと思ひるので、今度は逆に、重視しない要素を紹介していただこうと思ひます。今度は A さんからいきましようか。

A：一番重視しない要素は、〈経済性〉です。私の中で経済というのがまだ漠然としていて、どこまでを経済と言うのかがよく分かつていないという点もあるのですけれども、実際にエネルギーを供給している時点で、もう経済は回っていると私は考えています。コスト面の効率化という意味で経済を考えるならば、私は〈安全性〉を重視するので、その関連でコストが上がつたとしても、それに準じてまた経済が回るように新たな市場ができると考えるので、〈経済性〉はそこまで重視しなくても思ひます。

木村：ありがとうございます。

では、Bさん、どうぞ。

B：どれも重要だという前提ですけど、その中で後回しでもいいかなと思うのは、〈環境適合性〉です。あまり積極的な理由はないのですけれども、人間が何かしらの生産活動に従事するときは必ず何かしらのエネルギーを使わなければいけなくて、そういうときは必ず副産物が出ると思うのです。例えば二酸化炭素とか。で、技術発展によって、副産物の処理は徐々にうまくいく方向にいくと思うのです。例えば、省エネ技術がどんどん発達して、少ないエネルギーで多くのものをできるようにするとか。極力二酸化炭素を出さないようなものができるとか。というふうに、あるエネルギーの生み出し方が徐々に定着して、それが発展するにつれて、最初は違うかもしれないけれども、徐々に環境に適合していくものができるのではないかという希望的観測ができると思うので、〈環境適合性〉はあまり重要ではないのかなと思います。

木村：はい。〈環境適合性〉ということですね。

では、次はCさん、どうぞ。

C：私が重視しない要素は〈経済性〉です。〈安全性〉と〈環境適合性〉は、3.11があつて、重視しないとは言えないと思いました。経済については、知識が不十分で、まあ何とかなのではないかと思っているので（笑）。

木村：そういう素直な気持ちはすごくいいですよ。

C：なので、〈経済性〉は重視しなくてもいいのではないかと考えています。

木村：はい。

では、Dさん、お願いします。

D：私が重視しない要素は〈環境適合性〉です。Bさんの意見と似ているのですけれども、どれも重視するのですけれども、〈安全性〉や〈経済性〉や〈エネルギー安定供給〉は、自分たちに一番身近なところというか、最初に重視しなければいけないところだと思っています。そこを固めていくうちに、いろいろな新エネルギーとかの技術も発展して行って、そこに余裕ができてから〈環境適合性〉を考えていけばいいのではないかと考えて、重視しない要素だと思いました。以上です。

木村：ありがとうございます。

では、Eさん。

E：私が重視しない要素は〈安全性〉です。私だけだったみたいですが。〈安全性〉というのは、「安全です」と断言できないものだと思うので、すごく漠然としたものだと思うのですけれども、「リスクがある」と言うのは簡単で、リスクがある、リスクがあると皆が言い出すと、それ自体の活動が停止してしまうのではないかと。そもそもエネルギーがなぜ必要なのかというと、そういう活動をしていくためだと思います。先ほど、重視する要素の話の中で、Cさんがある程度妥協するべきだという話をしていたと思うのですけれども、そういう意味で、私は、ある程度の不安やリスクは背負わなければいけないのではないかと。〈安全性〉を重視しない要素にしています。

木村：なるほど。

では、どうぞ。

F：この4つは僅差で、かなり大事なことだと思うのですけれども、その中では私は〈環境適合性〉を一番重視しないと考えています。他の3つは、ものさしがある程度はつきりしていると思っているのです。〈経済性〉だったら、例えば経済成長が数字で出てきますし。〈エネルギー安定供給〉だったら、エネルギーがどのくらいできているのか、どれだけ供給されているのかが分かるし。〈安全性〉に関しては、原発ならシーベルトとかで考えられるし。でも、〈環境適合性〉は、私の中のイメージは、例えば水力発電だったらここがベストというように、たぶんそれぞれに一番適したものがあるのだと思いますけど、それは量的というより質的な問題で、日本の中でもいろいろな候補地があるのですけれども、どれが一番いいかは誰も分からないと思うし、それを正解不正解というのも判断しづらいと思います。重視しないというよりも、突き詰めることができないのではないかと考えているので、他の3つの軸を強めに考えていって、その妥協点じゃないのですけれども、一番いい感じのところに落ち着くのが〈環境適合性〉ではないかと私は考えています。

木村：ありがとうございます。

では、最後に。

G：私が一番重視しない要素は〈経済性〉です。私は〈エネルギー安定供給〉を重視すると言ったのですけれども、別に高い水準で安定供給できている必要はないと思っています。とりあえず安定していれば、少し低い水準でも別にいいと思います。〈安全性〉や〈環境適合性〉は、やはり人体や環境は一度壊してしまうとそう簡単に直るものではないですし、それに対して〈経済性〉が少し劣っていても、生活水準が少し落ちるだけで、人間は適応できるのではないかと思いますので、私は〈経済性〉を重視しない項目に選びました。以

上です。

木村：ありがとうございます。

では、皆さんの意見をまとめた模造紙を机の上に置きますね。ちょっとここを空けます。申し込み時点のアンケートだと、〈環境適合性〉を重視する人が1人いましたが、今回は〈環境適合性〉はいなくなりましたね。〈経済性〉はいなかったのですが、1人増えたようですね。

このメモを見て、お互いに質問してみたいことはありますか？ 見にくかったら立ってもいいですよ。周りの人の話を聞いてみて、例えば重視するものが自分と違うことについてどう思ったとか、そういう意見でもいいですけども。

C：私の中で、〈安全性〉と〈環境適合性〉の違いがあまり分からなくて。〈環境適合性〉がないときは、巡り巡って〈安全性〉も欠けてくるのではないかと思って、私は、この2つの違いがよく分からなかったのです。重視する要素とか重視しない要素に、〈安全性〉や〈環境適合性〉を挙げた方は、どうしてそれを選んだのか少し知りたいです。

木村：例えば、〈安全性〉を重視すると言っていたのはBさんとAさんですね。Bさんは、さらに、〈環境適合性〉を重視しないと述べています。〈安全性〉と〈環境適合性〉はそんなに違いがないのではないかというご意見ですが、それに対して、何かご意見ありますか？

B：先ほどのアンケートに、「3E+S」とはこういうことです、というのが書いてあったので、それがあると助かるのですけれども。

木村：はい。これですね。

※「3E+S」とは、

Energy Security（エネルギー安定供給：どれだけエネルギーを安定的に供給できるか）、

Efficiency（経済性：エネルギーのコストなど）、

Environment（環境適合性：環境、特に地球温暖化防止の観点）、

Safety（安全性：特に原子力発電の安全性確保の観点）、

の頭文字をとったもので、エネルギーの需給構造を検討するときに考慮すべき項目を表す。

B：そうですね、確かに〈安全性〉と〈環境適合性〉は親和性のある概念で、密接に結びついている概念だと思います。でも、〈安全性〉のほうが、なんていうんだろう、より根本的な概念というか。

ここに、〈環境適合性〉は「環境、特に地球温暖化防止の観点」で、〈安全性〉は「特に

原子力発電の安全性確保の観点」と書いてあるのですが、うーん、何かしらの問題が起こったときに、例えば原子力発電の事故が起こったときに、より被害とか負の影響が大きいのが〈安全性〉だと思っていて。〈環境適合性〉は、ある程度の〈安全性〉が保たれた上で、どちらのほうの方がより地球にやさしいとか、環境にやさしいとか、有害なガスを出さないとか、重要ではあるけれども、より軽微な問題だと思うのです。

大元の〈安全性〉が保たれば、軽微な〈環境適合性〉は次第にどうにかなるだろうという理解で、こういう主張になりました。

木村：Aさんは〈安全性〉が重要と言っていて、FさんやDさんは〈環境適合性〉を重視しないという話をしていますけれども、どうですか？ Aさん、〈安全性〉に関して何かご意見があれば。

A：私は、〈安全性〉は、人体に直接影響があるかどうかを第一に考えました。

地球温暖化も、CO₂の排出も、直接的には人体に影響があるかどうかは目に見えないもので、後から人体に影響があると分かってくるかもしれないですけれども、とりあえず現段階では人体に影響があることが分かっていないのが〈環境適合性〉だと考えています。

木村：なるほど。Dさんはいかがですか？

D：私も同じで、〈環境適合性〉は、地球温暖化とか、生態系が乱れるとか、問題ではあるのですけれども、自分たちの日常生活からは離れた世界の話という感じです。〈安全性〉は、人体に影響があるという話もありましたけれども、自分の命に関わってくるような問題と違って話していました。

木村：Eさんは、重視しない要素に〈安全性〉を挙げていますけれども、〈環境適合性〉と〈安全性〉の関係はどう思いますか？

E：〈環境適合性〉は、長期的な問題というか、後のほうで結果が出てくるような問題の感じがしています。〈安全性〉は、直接的な問題だと思います。

木村：Fさんはどうですか？

F：私も、たぶんそんなに皆さんと考えが変わらないと思います。原因があったとして、それが直接人間に大きな影響を与えるのが〈安全性〉。巡り巡って、直接的なベクトルではないけれども、周りに経由してまた戻ってくるかは別として、それが周囲の環境に向かうのが〈環境適合性〉だと思っています。

先ほど、私は、〈環境適合性〉はものさしがはっきりしていないと言いましたけれども、人間に直接影響を与えるとすると、例えば被ばくしたのだったら、原因はこれだって分かると思うのです。でも、例えば何か生態系が崩れているというときに、これが原因だとはなかなか特定しにくいじゃないですか。地球温暖化に関しても。なので、なかなか根本を突き詰めるのは難しいのではないかと考えました。

木村：Gさんはどうですか？

G：私はどっちも選んでいないので。私も違いが曖昧だったので、ひっくるめて真ん中にしたという感じではあるのですけれども。

〈安全性〉は、皆と同じで、人に直接というイメージを持っています。あとは、事故とか、何かやらかした場合に何かある、というのはどちらかというと〈安全性〉だと思っています。何も事故がなくて想定通りでも、少し周りに影響を与えて崩れていくのが〈環境適合性〉かな、というぼんやりとしたイメージのもと、考えました。

木村：割と皆さん同じような方向で言っているのかもしれませんが。直接的で、ダメージが目に見えて、ある種の短期的なものは〈安全性〉で、間接的で、長期的で、影響も確定しないけど何かありそうというのが〈環境適合性〉なのかなと。皆さんの話を聞いて、そういう感じかなと思いましたけれども、どうですか？

C：ああ、なるほどと思いました。

ただ、どこまでが長期的で、どこまでが短期的と言えるのか。チェルノブイリ事故のときも、事故があって、そこから実際に被害、白血病やがんが出始めたのは30年後ですよ。30年は長期と見るのか、短期と見るのか。チェルノブイリの影響が今出ていますが、それは本当にチェルノブイリが原因だったのか、その人の元々の、がんだったら遺伝子の問題なのか。そういうことが出てきてしまうので、「どこまでか」というのは疑問ですけれども、まあ、だいたいそんなところなのかなと思いました（笑）。

木村：はい。ここまでは「3E+S」を中心に話し合っていますけれども、この後、ステップ3では、それ以外に考えなければいけないことはないか、ということをお話し合ってもらう時間を用意しています。なので、今のようなお話は、また次のタイミングで大いに話していただければと思います。

「3E+S」に関して、他に確認しておきたいことはありますか？

E：話を聞いていて、重視しない理由は、「分からないから」とか、「何とかなりそう」とか、楽観的なものが多いなと思いました。それをそれぞれの所属で考えてみると、理系の方は、

〈経済性〉はどうにかなりそうとか。私は文系だから、そんなことないでしょうと思っていただけですけれども。逆に、私は〈安全性〉を重視しない要素にしたのですけれども、自然科学をあまり理解していない人間からすると、楽観的に考えたがる要素なのだろうなと思います。

そういう面で、Bさんが、重視する要素に〈安全性〉を挙げられたのですけれども、意見を聞いていて、(私と)真逆の意見だったのですけれども、表裏一体というか、似ている点、納得できる点も感じました。感想なのですから。

木村：はい。今のご意見を受けて、Bさん、どうですか？ 経済学部ですよ。

B：はい。ええと、どこからコメントすればいいですか？

木村：1つは、〈経済性〉を割と皆が楽観視しているのではないかというつつこみに対して。

B：そうですね、なんていうのかな、確かに〈経済性〉は重要だと思うのです。私は、〈経済性〉はどちらかというと費用対効果という面で考えました。例えば、エネルギーが安定供給できるからといって、ものすごくコストがかかるものを維持できるかと言われたら、できないと思うのです。そういう意味で、〈経済性〉は、放置してどうにかなるようなものではないと私は思うのです。

でも、どうにかしないといけないということを考えれば、例えば市場原理を導入するか、リサーチ&ディベロップメント、研究開発が民間的に自発的に進むような環境を整備してあげるのであれば、まあどうにかなるのではないかとは思いますが。

単に、この4つの中で〈経済性〉は黙っていてもどうにかなるだろうというのは、やや短絡的な議論かなと私は思います。

木村：やはり普段からそれを勉強している人の声は重いですね。

あとは、文系と理系と、似通ったものがあるのではないかという話でしたね。

E：はい。逆にそこは、知識が足りないから分からない部分もあるのだと思います。私もそうなので、どうすればいいんでしょうね。話を聞きながら、意見が結構変わるのではないかなって思いました。

木村：理系側からは何かありますか？

G：私は、エネルギーを使った上で理想とする将来的な生活像のスタンスが、人によって違い過ぎているのだと思います。今後このままどんどん日本を経済発展させていきたいとい

うスタンスの人と。今の生活を守って、安全性とか環境とかを全部守った上で、できればちょっと発展したいという人と。だから、重視する要素、重視しない要素がバラバラなのは、仕方がないのかなという気がしました。

木村：なるほど。実は、次に話し合ってもらうテーマが、まさにそれなのですね。では、次のステップに移りたいと思います。